

第71回全国高等学校PTA連合会大会 2022 石川大会に参加しました。

令和4年8月 PTA 会長 鈴木元行

8月25日（木）と26日（金）の二日間、「第71回全国高等学校PTA連合会大会 2022 石川大会」に本校のPTA代表として私と沖尚也さんが参加しました。本校PTAとして、全国大会への参加は3年ぶりでした。本年度のテーマは「輝く未来への礎 ～親から始める新時代の教育～」でした。



初日は小雨が降る中、開催地の石川県の皆さんの温かいお迎えを受けながら、「いしかわ総合スポーツセンター」に入場しました。

地元の高校生による歓迎のアトラクションを見た後、開会式が始まりました。そこで、本校は「第71回 全国大会会長表彰団体」として表彰を受けました。私が代表として受け取りましたが、これは今までの本校のPTA活動が評価されたものであり、これからのPTA活動の励みになるものです。この栄誉を今まで本校PTAに関わった全ての保護者の皆様と分かち合いたいと思います。



参加した第1分科会では「新時代の家庭教育」というテーマで、「今、伸ばすべき本当に必要な力」についての講演を拝聴しました。慶応大学の中室牧子教授には、「井の中の蛙効果」や「相対的はく奪」などの学術用語をわかりやすく説明していただき、客観的なエビデンスに基づく教育施策の大切さを学びました。また、「花まる学習会」代表の高濱正伸様からは、真の学力をつけるためには、子ども達もつ疑問をじっくり時間をかけて解決させることが大切で、「やらされ・人目・比較・コンプレックス」が子どもの真の学力獲得の妨げになっていることを学びました。

2日目は、ファミリーマート顧問の澤田貴司様の実体験に基づくお話で、「やりたいことをやる」というテーマのお話を伺いました。ファミリーマートとサークルKサンクスの続

合で苦勞されたことや、常識だと思っていることが決して正しいことではなく、常に見直しをすることで組織を活性化されたことを、迫力をもって伝えていただきました。

2日間にわたった全国大会で感じたのは、ホスト県の石川県の皆様のホスピタリティーの高さでした。たまたまお話しした方に「愛知県から来ました。」とお伝えしたところ、「この夏は、愛知県には高校野球で思いっきりやられましたね。」と、夏の甲子園の名電高校と星稜高校の話を笑顔でしてくださるなど、全国からのお客様を迎え入れる気持ちにあふれていました。会場の外では、高校生が自分の学校で作った商品を笑顔で販売していたりするなど、コロナ禍で中断していた全国大会が、制約がある中でも戻ってきたと感ずることができました。

会場の入場時には、全ての参加者の検温を行い、ひとり一人に手指消毒を行うなどコロナ対策が徹底されるなど、これから大規模な行事を行う上でのヒントも多く、本校の取組にも生かしていきたいと感じました。

来年度は、宮城県での開催です。それまでに、コロナが終息していることを強く願って、会場を後にしました。

